

トラック 1

(♪ドア開閉音)

ご主人～！ おかえりなさ...

ちょっと。帰ってきてから「ただいま」もないなんて酷くない！？

くにか、こんな時間まで、ちゃんとご主人の帰り待ってたんだよ？

頭撫でるぐらいしてよー...。

(ご主人がくにかの頭撫でる)

むー。　なんか愛情ない。

はぁ。

こんな天使と悪魔のハーフを、ペットがわりにしてる贅沢な人間、ご主人以外にいないのよ？

...ってもー！ベッドに直行しないでよ～！

ねー。そんなにお仕事大変なの？

...前はお仕事あっても、可愛がってくれたのに。

疲れてるのはわかるけど！　わかるけどさー...。

ふん！いいよもう！　倒れられても困るし！

私もベッド入る！

(♪ベッド衣擦れ)

...ねえご主人...。

...やっぱいい。何でもない。

今日も1日お疲れ様。　おやすみ...。

(しばらくの間)

つんつん。　つんつん。

はぁ。もう寝ちゃったご主人。

本当に疲れてるんだろうな…。

う～～～でも寂しいよー、もっと構って欲しいよ…。

困らせるのわかってるけど、私には、ご主人だけだもん。  
私は留守番してる間、ずっとご主人のこと考えてるけど、  
ご主人はやることたくさんあるし…他の事で頭いっぱいだよな…。  
休みの日も、用事がなければ大体寝てるし…。

私、邪魔かなあ。

…あ、そういえば、この間電話してた人…女の人だったよな…。  
え、どういう関係？  
私というものがありながら、ご主人はその人と…！？

やだやだやだご主人～～～っ

…こんなに騒いでも、起きないんだ。

ご主人のばか。  
もういいもん。

構ってくれないなら、勝手にご主人の体借りて好きにしちゃうもん。